

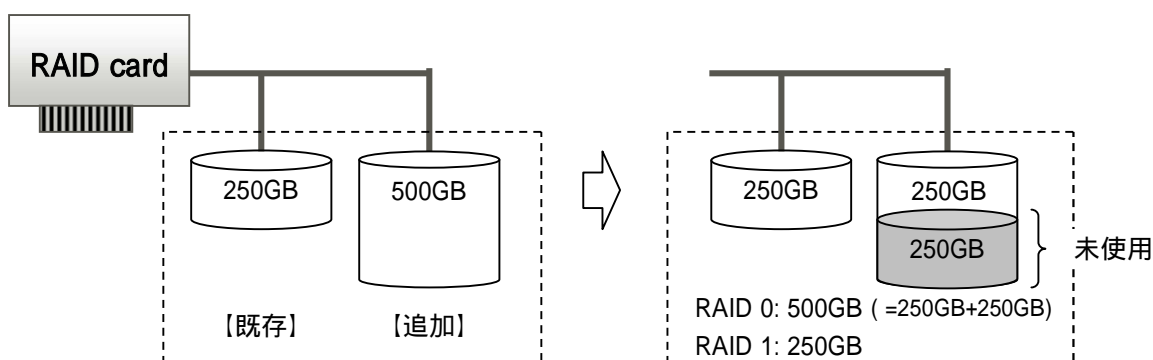
2011 年 10 月 24 日

異なる容量の SATA ハードディスクドライブを増設時のアレイ構築について

アレイ構築の際、ディスクグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨しておりますが、以下をご留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイ構築が可能です。

【対象ドライブ】SATA ハードディスクドライブ、BC-SATA ハードディスクドライブ

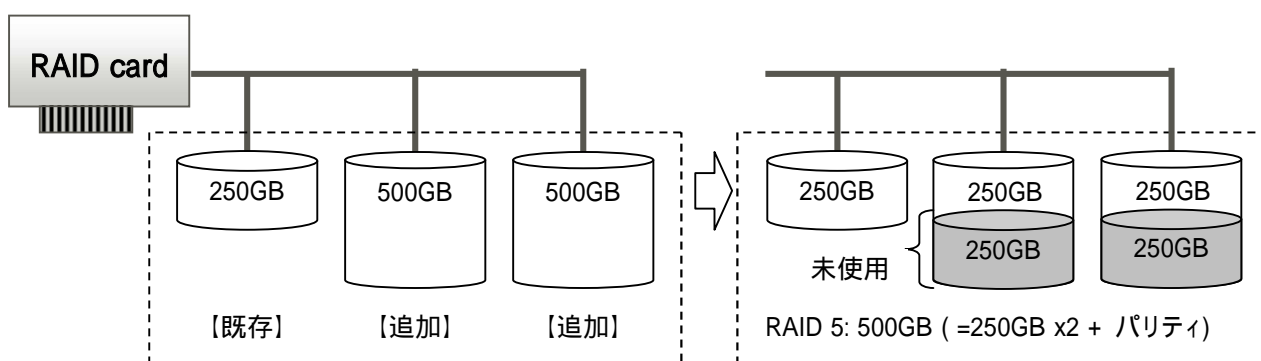
RAID 0 or RAID 1 の場合



アレイコントローラの仕様として、アレイを構成するために指定したドライブ中(ディスクグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。既存ドライブが 250GB、追加するドライブの容量が 500GB の場合、追加ドライブ中の 250GB のみが、ロジカルドライブとして使用されます。

このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大 500GB のロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大 250GB のロジカルドライブが構築できます。追加ドライブの残り 250GB は、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

RAID 5 の場合



既存ドライブ 250GB に、2 台の 500GB ドライブを追加し RAID5 を構築する場合も、上記の RAID0, 1 を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。

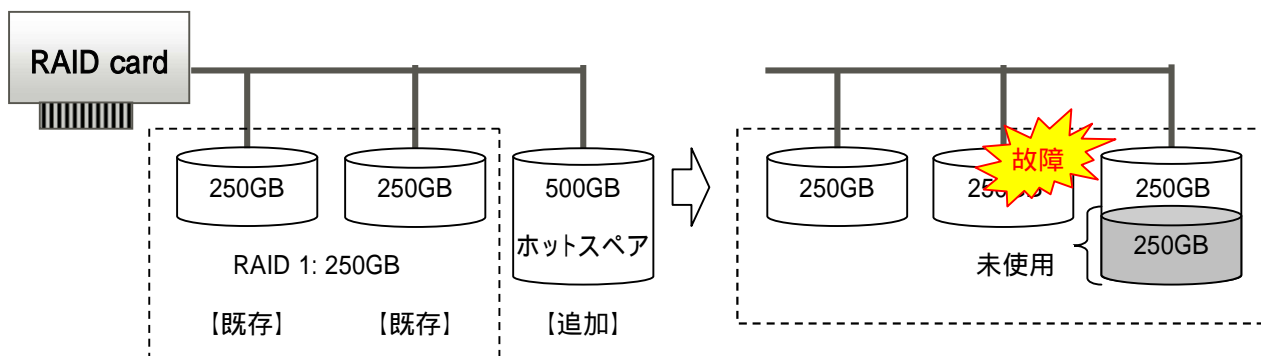
このため、RAID5 を指定した場合、最大 500GB のロジカルドライブを構築できます。

RAID0, 1 の場合と同様、追加ドライブの残り 250GB は、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

異なる容量のドライブを追加した場合でも、大きな容量のドライブに未使用となる領域ができますが、同一容量のドライブを使用した場合と同様なロジカルドライブを構築することができます。また、アレイを構成しているドライブ

より大きな容量のドライブであれば、ホットスペアドライブとして使用することができます。

ホットスペアドライブとして追加した場合



250GB のドライブ 2 台による RAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして 500GB ドライブを設定した場合、故障が発生した際は、スペアドライブ中の 250GB を使用してリビルドが行われます。残り 250GB は未使用となります。

i 異なる容量のドライブによりロジカルドライブを構築する際に、警告(Warning)メッセージが表示される場合がありますが、未使用となる部分ができてしまうことを示すメッセージであり運用上問題ありません。確認画面が表示される場合、表示内容を確認いただき構築作業を継続してください。

Embedded MegaRAID [BIOS Utility]の場合:

WARNING! Selected Disks Have Different Capacities-Extra Space Will Be Unused
Press Any Key To Continue

キー入力し、構築作業を継続してください。

MegaRAID SAS [WebBIOS]の場合:



「Ok」ボタンをクリックし、構築作業を継続してください。

Sever View RAID Manager の場合:

「論理ドライブの作成」において、ドライブを選択した際に以下の[注意]が表示されます。

⚠ 他の論理ドライブで使用できないセグメントが含まれています。

「作成」ボタンをクリックし、構築作業を継続してください。

i アレイコントローラのパトロールリード機能は、接続しているドライブの全領域に対して行われます。このため、大きな容量のドライブを接続している場合には、増加した容量分実行時間が長くなります。